

市外からの転入及び市外への転出状況について

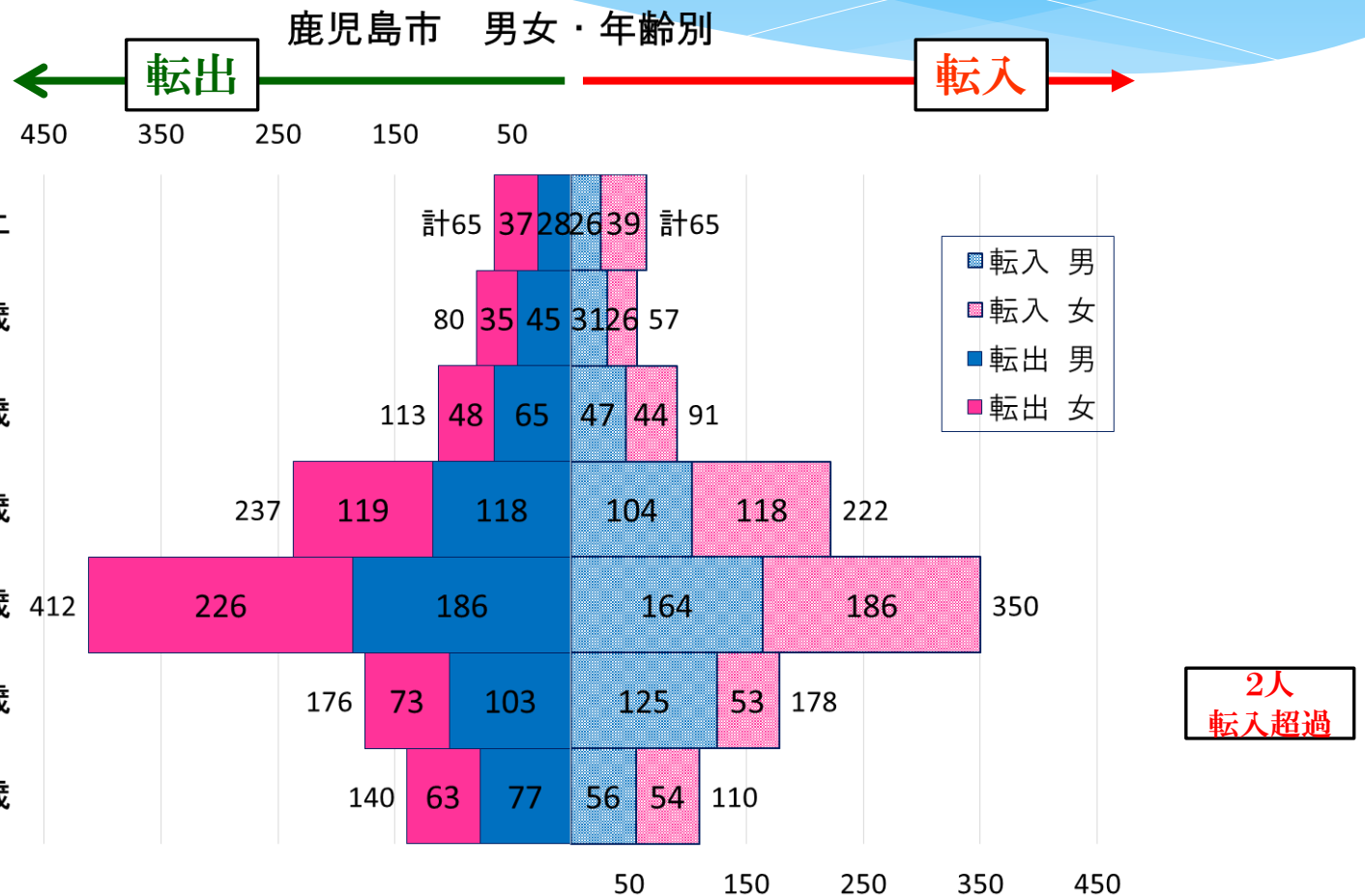
資料1

- 他市町村から霧島市への転入者数、霧島市から他市町村への転出者数ともに、**鹿児島市が最も多く、次いで姶良市**となっています。
- 転出超過(転入者数－転出者数)は、**姶良市が最も多く(170人)、次いで鹿児島市(150人)**となっています。

順位	地域	①転入者数	②転出者数	転入・転出の差 (①-②)
1	鹿児島市	1,073人	1,223人	▲ 150人
2	姶良市	431人	601人	▲ 170人
3	都城市	269人	272人	▲ 3人
4	鹿屋市	259人	198人	61人
5	熊本市	177人	197人	▲ 20人

鹿児島市のケース

- 「20歳～29歳」の転出超過(62人)が最も大きく、その内、40人(226人-186人)が女性である。
- 「10歳～19歳」において、女性は転出超過(20人)に対し、男性は、22人の転入超過となっている。(結果、2人の転入超過)

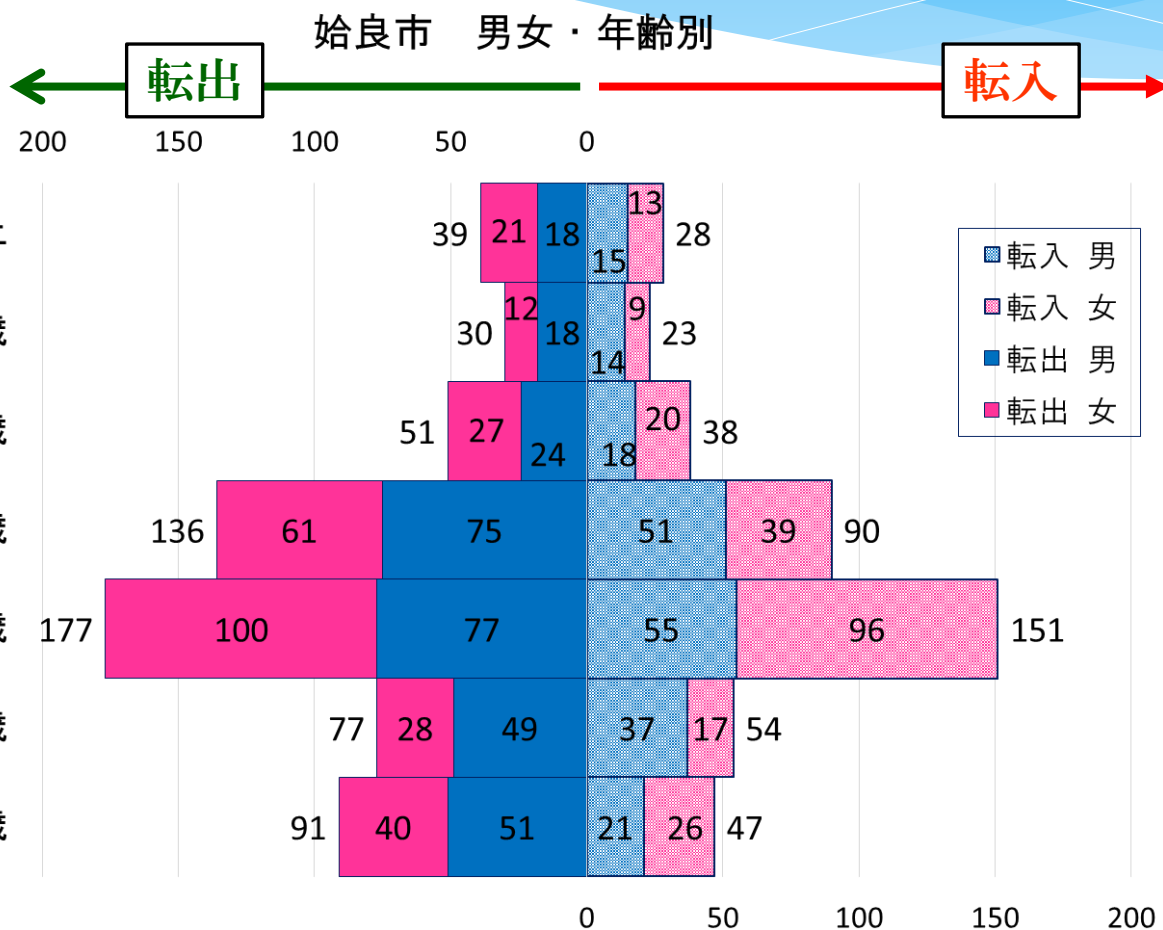


※上記人口には年齢不詳者は含まれておりません。

始良市のケース

●「30歳～39歳」の転出超過(46人)が最も大きく、鹿児島市と異なり、男女差は小さい。(男24人・女22人)

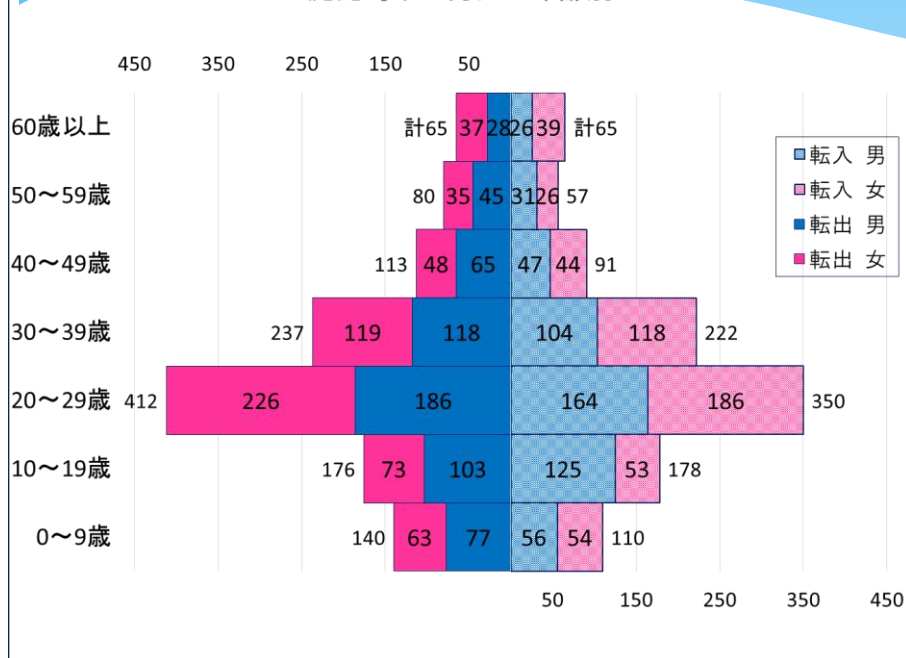
●「0歳～9歳」についても、「30歳～39歳」とほぼ同数(44人)の転出超過が発生している。



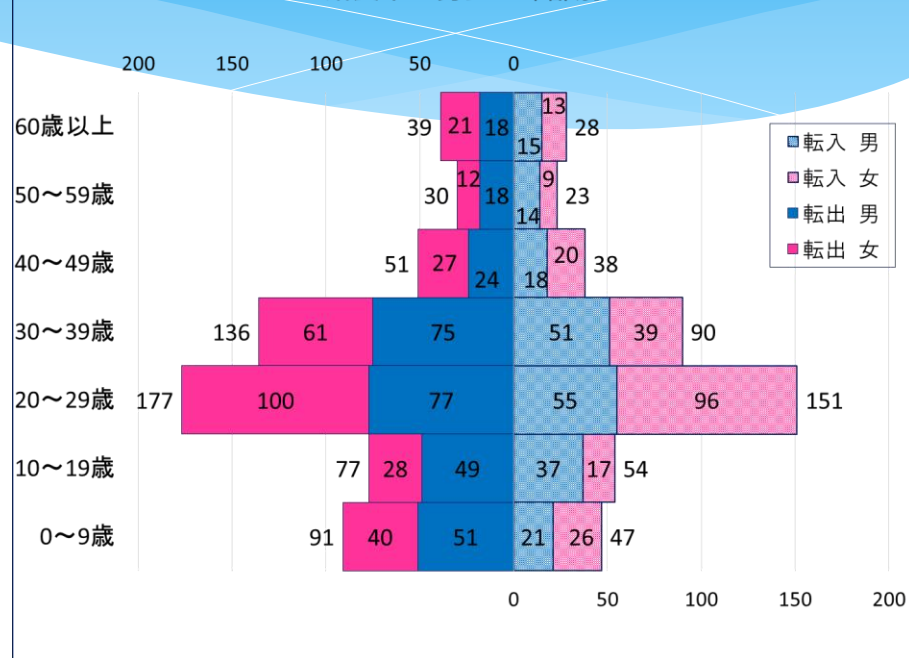
※上記人口には年齢不詳者は含まれておりません。

鹿児島市・姶良市 イメージ比較

鹿児島市 男女・年齢別



姶良市 男女・年齢別



※上記人口には年齢不詳者は含まれておりません。

出所：平成27年住民基本台帳人口移動報告